

日本が戦略的な動きを取り始めた。21日日本と東南アジアメコン川流域5か国が東京で開く「日メコン首脳会議」で「東京戦略2012」を採択した。13年度から3年間で約6000億円の政府開発援助（ODA）を行う。カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムの5ヶ国との連携を深めることは、この地域に勢力を伸ばしつつある中国への対抗措置としても有効である。特にミャンマーとの連携強化は効果的だ。日本からインドに伸びる対中包囲網の脆弱な腹であったとこの地域との連携は日本の大戦略上望ましいことである。ODAの戦略的な観点からの運用をすべきと主張してきた者としては喜ばしい限りである。民主党にも人が居るといふべきだろう。

さて、昨日午後、早川忠孝氏が主宰する第一回「ビヨンドXフォーラム」に参加した。家内の友人の紹介によるものであり、如何なるものか興味津々であったが、予想以上の刺激を受けた。

フォーラムは第一回でもあり、如何なる運営をするかは試行錯誤しながら模索していくことになるのであろう。今回は、主宰する早川氏の指名により参加者が自己紹介や己の想いを3分また数分以内で述べる形で進められた。参加者は50名弱か、殆どが若者であり、地方議会の議員や挑戦者、国政関係者、大学生、フォーラムの趣旨に共鳴した小生の様な者が幾らかという構成であった。

参加者の知的レベルは高く、また彼等のこの国を何とかしたいとの熱情は迸っており、訴えにも真摯なものを感じた。

主催者の考えで、Xを如何に超えるかを主眼としてそれに挑戦しようではないかを基本理念として、また発言者を誹謗中傷はしないことの基本ルールのもと、何を言っても構わないとのことで洗練されたフォーラムであった。欲張りを言わせて貰えば、Q&Aがあれば更に面白かったかもしれない。

何れにしる、早川氏はこのフォーラムを月1回程度の頻度で開催して100回を目指したいと云う。本フォーラムの更なる発展を期待したい。

『今時の若者は云々』とは我らの様な年寄りの言いぐさであるが、本フォーラムに参加した若者を見ているとまだまだ日本も捨てたものではないとの感を強くした。

考えてみれば、小生のこれまでの知人と云えば、自衛官時代に培った方々と第一生命時代のほんの一握りの人々であり、そういう意味においては極めて特異な人間関係だったと思える。小生にとっての「X」は、新たな方々との出会いとそれによる刺激であろう。ビヨンドした暁に何が生まれるのかは不明であるが、わくわくしながらそれに挑戦してみたい。

フォーラム終了後の懇親会ではお互いの意見に耳を傾け、己の存念をぶつけ合い、そして相互理解が進んだ。小生も久し振りに若者と議論出来て嬉しかった。最近、このように

真剣に議論などした記憶がない。

小生にとっては若返りの秘薬かもしれぬ。